

会 議 報 告 書

- 【会 議 名】 令和 7 年度 第 1 回 三朝町部活動地域移行検討委員会
【日 時】 令和 7 年 6 月 17 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分まで
【場 所】 役場第 2 会議室
【出 席 者】 （1）検討委員 9 名
 （2）事務局 5 名

【会議内容】

1 議題

- （1）三朝町における検討状況について
社会教育課担当から本町における検討状況について説明
（質疑等なし）
- （2）令和 7 年度事業計画について
社会教育課担当から①休日の部活動改革及び②スポーツ少年団への中学生加入について説明
①休日の部活動改革：中学校と調整し、事業実施日を決定後、受入団体と協議
②スポーツ少年団への中学生加入：各スポ少へ受入の可否を照会（7 月末目途）
- （3）その他
特になし

2 その他

第 2 回の検討委員会の開催予定については、上記スポ少への照会事項の取りまとめ、及び中学校運動会（9 月 13 日）終了後となる、9 月中旬から下旬頃を目途に開催。

令和7年度 第1回 三朝町部活動地域移行検討委員会議事録

議題（１）三朝町における検討状況について

事務局

～資料のとおり説明～

委員長

今までの検討状況、経過を説明いただきましたが、これについてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

出席委員

（意見無し）

議題（２）令和7年度事業計画 ①休日の部活動改革について

事務局

～資料のとおり説明～

委員長

休日の部活動改革の1つの事業として、こういうものが上がってきておりますが、まずこのことについて皆さんの方からご質問なり、ご意見等ありましたらお願いします。

委員

休日に部活動するということなんですけど、現状としては、土曜日と日曜日のどちらかが部活動でどちらかが休みだったように記憶していますが、両日部活動というところもありますか。

委員

基本的に水曜日と日曜日がオフとなります。日曜日に部活動をする場合は、大会であったり、練習試合の日程が日曜日にしか組めなかったパターンである。大会でも何でもないので土日どちらも部活動することは、基本的にない。

なお、何らかの事情でどうしても土日の活動があった場合は月曜日がオフです。

委員

日曜日は休みなので、通常部活動のある土曜日について、月1回こういう活動をするということですね。

事務局

今、説明のあったとおり基本的に休日は土曜日に部活動をされておりますので、本事業は土曜日を想定しています。

委員長

もしこれを進めていくというときに、まず、中学校側に地域活動に参加するような体制を作って良いのか、どの月の土曜日が良いのかといった協議が必要ですね。

毎月やるっていうことになる、なかなか難しいのではないかなと思うので、まずはできることからっていうことを考えて、まず1回目っていいですかね、どこかの土曜日でこういうことができないだろうかということを中学校側に協議することからではないでしょうか。

事務局

そのとおりです。中学校との協議により、実施可能な日程を決めた後に、事業実施にあたり、受入団体との調整という流れで考えております。

事務局

イメージ的には、新人戦が終わった後と考えております。受入側の立場からしても、準備期間を考えるとそれぐらいの時期が良いかと思われます。

令和7年度は、部活動の地域移行を動かし始めた年になれば良いと思います。

委員長

事業実施の日を中学校で決めてもらったとしても、全ての部活動をなしにして、これに絶対参加させるっていうことではなくて、新人戦が終わった後も、色々な大会等もあるので、どうしても部活がしたいということであれば、そちらを優先してもらっていいような流れを作っておく。その中で、この事業をするので、できるだけ皆さん参加してくださいと、全ての部活動をやめてくださいっていうような状況ではなくて、まず始めたらどうなのかなっていうことを、事務局とは話しておりますが、どうでしょうか。

委員

これまでの話の中でもそういうことが出てきたと思いますので、(任意の土曜日をオフにする)原則を作っておいて、どうしてもその日しか練習試合が組めないとか、大会が入ってしまったっていう場合はもうそっちに出るということで問題ないと思います。

委員

関連して、年間行事イメージについて全体的に良いと思いますが、例えば青空体験塾における魚つかみ体験というボランティアは、やっぱりイメージ的には夏休みではないかというふうに感じます。したがって、夏休みも町の行事や地域の行事があるときには、中学生が参加しやすいのではないかと思います。夏休みは逆に土日を完全休養日にして、平日だけ部活という形になっているため、地域行事を活用して、中学生が地域で活動することに自信をつけてもらうことが重要です。

そのためにも、地域活動への参加を呼びかけてもらいたいと思います。

委員長

中学校側としても、そういった声かけをしていくということになろうかと思います。

実施時期としては、新人戦以降という話が出てきましたし、その辺りでこの事業を行える日を選定してもらおうということでよろしいでしょうか。

出席委員

(反対意見等なし)

委員長

それに合わせて、実施時期が決定し次第、実際に何をするのか設定していくという流れになりますね。

委員

資料に掲げる5つのテーマを実施した場合、予算的な問題はないでしょうか。

事務局

問題ありません。

委員長

この中でも一番時期的に可能性のあるというか、実施できそうなテーマなどありますか。

事務局

スポーツ教室として挙げているペタンクは、個人的に年間を通じて体験ができると考えています。その他には、バイオリン鑑賞会にしても同様です。

委員長

それでは、子ども地域活動参加推進事業につきましては、よろしいですか。もし何かありましたら、また後からでもお願いします。

続いて、スポーツ少年団の中学生加入について、事務局から説明をお願いします。

議題（２）令和７年度事業計画 ②スポーツ少年団の中学生加入について

事務局

～資料のとおり説明～

委員長

スポ少に対してアンケート（照会）をとるということで、資料の裏面に照会事項が記載されておりますが、まずはこれに関しての意見はありますか。

委員

小学生と中学生を教えるということについて、指導者の負担が大きくなるように思うが、どうだろうか。

委員

種目にもよるのではないかと思います。あくまで今の枠組みの中に、中学生を加えて指導していくということになれば、小学生と中学生のレベル差などの問題も出てくるでしょうが、取り組み方はそれぞれの指導者が検討して決めていくことだと思います。したがって、まずは中学生を受け入れることができるのか照会するところから始めてはどうでしょうか。

仮に、小学生と同じように中学生を指導することが難しいということがあれば、逆に中学生に教える立場になってもらう。自分の経験上、教える立場になると、教える側も成長することがあるため、スポ少に関わってくれる中学生の成長を期待することができると思います。

なお、部活動の地域移行を推進するにあたっては、中学生のスポ少加入が一番進めやすいのではないかと思います。

委員

同感するところが多いです。同じスポーツ団体で中学生まで続けている「KY 鳥取」というチームがあり、ここは９年間を見越した指導がなされています。

一方で通常の場合、小学校６年で一区切りついた後、中学校に入ったら指導者が変わり、合わないなどの理由で、やる気が弱まるような事例もあります。したがって、小中連携して指導方法なり、成果を積み上げていくことが重要であり、また、中学生が小学生の模範になることも同様に期待できます。

まずは、受け入れ可能なスポ少から進めていってはどうでしょうか。

委員

私もこのスポ少加入については、ほぼほぼできるかなと思っております。

スポ少は、小学校６年生で卒業します。卒業して、三朝の場合だったら小学校から中学校へそのまま全部スライドでいってますので、中学生になったと言っても私たちのような指導者側からすると、教える相手は変わっていないため、様子も分かりますし、今月はこの子だったらこういうふうに行った方がいいんじゃないかとかっていうのも、私としてはノウハウを持って

るので指導はしやすいかなと思っております。

1つ気になった点として、通常の部活において、顧問の先生がどういう考えでやられてるのかと…スポ少の考え方との差ですね。例えば、スポ少が楽しく体づくりを優先とした指導方針である一方、部活動の先生方が、勝利至上主義だという考えがあった場合、生徒がギャップを感じて、どちらを信じたらいいんだろうといったことにならないか懸念するところです。

もう1点が、時間の問題ですね。私たち一般的に社会人働いておりますので大体早いところで、18時からスタートということが考えられます。

ちなみに通常の部活動の時間は何時までですか。

委員

圧倒的に多いのは、17時30分終了で、最終下校が17時45分となります。

委員

最終下校が17時45分ということであれば、例えば早く始まるスポ少の開始時刻18時までの15分間、どこでどのようにして待機させるのかといったことも気になります。

(冬季期間は、最終下校時刻が早まるとの声あり)

この待ってる時間に対して、居場所を作る必要があるかなと私は思ってます。それさえクリアすれば、この中学生のスポ少加入は可能であると思います。

委員長

これから詳細を検討していく必要はありますが、まず、こういった照会をかけていくということについては、もうよろしいでしょうか。

出席委員

(特になし)

委員長

この照会をまず一旦はかけて、受入可能の回答が出た団体から協議していく流れとしてはどうでしょうか。そして、中学校側としても地域移行を進める流れもないことはないのですが、もし受け入れていただくってことになれば、顧問の考えもあるだろうが、スポ少の方でお願いしますといったようになるかと思います。

委員

今、勝利至上主義という部活はないように思います。ただし、陸上のような個人記録を伸ばす競技は、例外かもしれませんが。

委員長

とりあえず照会は、いつごろを考えていますか。

事務局

7月末を期限として、照会したいと考えております。

委員長

そのようなスケジュールで照会をかけていただくということで皆さんよろしいですね。

出席委員

(同意)

委員長

皆さんの方で、こういうこともしてはどうかとか、何か別の意見等があればどうぞ。

委員

今日は中学生の土日の活動ということで、地域の活動に参加したり、スポ少に競技指導を委ねるといった話であったように思います。

小学校では、子ども会の活動がありますが、年々活動実績が縮小しており、その一つの要因として、土日のスポ少活動があげられます。休日に地域の活動があるにもかかわらず、小学生がスポ少で参加できない状態にあるといった課題も知っておいてください。

委員

スポ少は土日に練習試合が積極的に組まれており、月曜日に休む生徒も中にはいるような実態です。この部活動の地域移行に合わせて、こういった課題も解消していけたらと思います。

委員

小学生は週に3日休む必要があったように思います。中学生及び高校生もそれぞれ定まっていたと思います。

事務局

スポ少の活動日数は週3日が限度だったように記憶しております。中学生については、部活動のあり方に関する方針に基づき、平日1日、及び土日どちらか1日部活動を休む必要があります。

委員

現状は、そうではないと思います。土日両日活動されているスポ少があります。

委員長

その他に何かありますか。

委員

本件に関しては、どの団体も苦労しているように感じています。したがって、後日、他団体の取組であったり、成功事例を紹介してもらえないでしょうか。

また、スポ少に中学生が加入するとなった場合、金銭的な補助が可能か考えているところです。

事務局

鳥取県が主体となって、年に数回自治体担当者が意見交換する場が設けられるため、そこで情報を入手していきたいと思います。